催淫アイドル

FOR ADULT ONLY

皆さんこんにちは
佐々木千枝です

今日はホテルを貸しきって
初めてのグラビア撮影です
大人の人の喜ばせ方の初歩
らしいので頑張ります！

…けど…

――

――

プ…プロデューサー
…さん…

おっ！
準備できた？

は…はい…

ペタ

タッ

この水着…
すごく…恥ずかしい
…です

おっ！
良く似合ってるよ

え…あの…

…えと…

やっ…やっぱり
無理です！

ちょっ！

プロデューサーさん
ごめん…なさい

まぁ初めてだから
仕方ないよ

あっ！
そうだ！

…これは？

恥ずかしさを抑える薬と
このイヤホンマイクを
あげるよ

ここから僕が声を
かけてあげるから
恥ずかしくて集中
できなかったりしたら

僕の声だけに集中
すればきっと大丈夫
だから

聞こえる？

はい…でも
変な音がします

それは意識的にイヤホンの
音に集中させるための音
だからすぐ気にならなく
なるよ

よし！
それじゃぁ最後に勇気が
でるおまじないをして
あげよう

あっ…ありがとう
ございます！

さぁ力を抜いて
ゆっくり深呼吸をしよう

ゆっくり深呼吸しながら
瞼を閉じていこう

僕の声だけに
集中して…

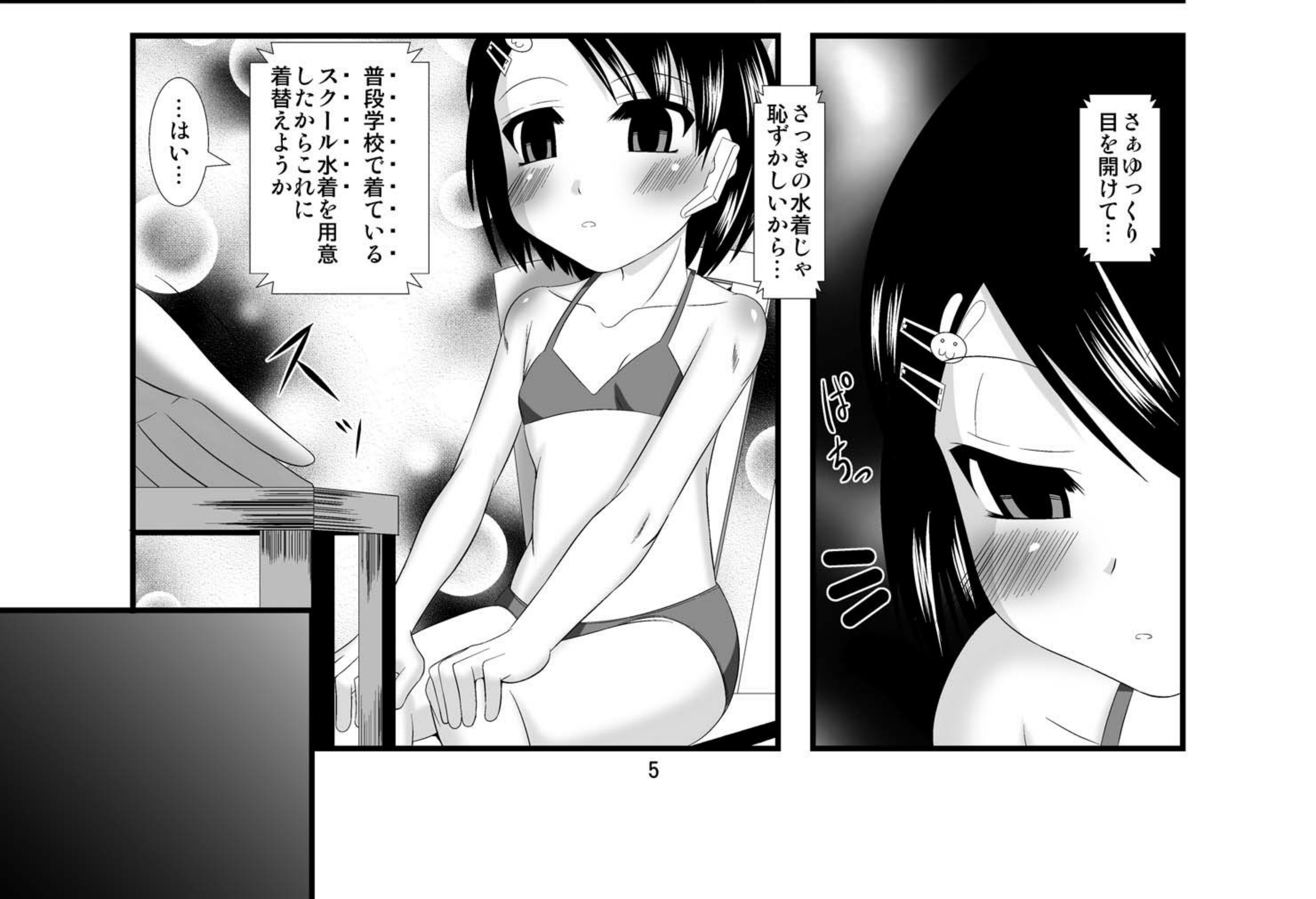
ゆっくり…
ゆーっくり…

この音が聞こえると
君はこのイヤホンからの
声しか聞こえなくなる

この声は勇気を
くれる声
だからこの声の
言うとおりにすれば
怖くない

つまりこの声が
言うことは全て正しい
だからこの声の
言うとおりにするのは
当然の事

周りの音や声は
全て雑音
この声だけ聞いていれば
安心する



プロデューサーさんにはとっても感謝です♥

いいよー♪すごくいいね♪

用意してくれた・・・・・・スクール水着とおまじないのおかげで撮影は順調です♥

イヤホンマイクもCGで消せるらしいので安心です♥

よし！それじゃぁそこの日焼け止めを塗ってみようか

…日焼け止め…ですか？

ほら君の横に置いてあるボトルが・・・・・日焼け止めだよ

…あっ！本当だ♪

こんな近くにあるのに気づかないなんて私ったら…

えへへ～♪
ぬ～りぬ～り♪

丹念に
塗ろうね

…はい♥

特に水着の中が
日焼けしちゃうから
入念にね

…はい♥

ほら…下の水着の
中も塗らなきゃ

…はい♥

どうかしたのかい？

い…いえ…

今君は日焼け止めを
塗っているだけだよ
皆そう思ってる
だから好きなだけ
塗って良いよ

は…はい…♥

んっ！

んっ♥
な…んだろう
日焼け…止め
塗ってる…だけ
…なの…に
クンッ
クリッ
クチュ
クチュ
クチュ
ほら塗ってる所
良く見せて
みようか
…はい♥
み…皆さん
わた…しの
日…焼け…
スッ
カシャ
カシャ
カシャ
止め…塗って…
ぬ…って…る…
ビクッ
ビクッ
ブシャ
ブシャ
ビクッ
とこおおおおっ!!

十分塗れたね
じゃぁ次だよ

はぁ～

側にある
バランスボールで
遊ぼうか

…はい

クルッ

…どうしたの？

…え？

え…？
だって…この
…人…

ピッ

ピッ

ピッ

社…ちょ…っ

それはバ・・・ランス・
・・・ボールだよ

だから上に乗って
遊ぶのが普通
だよね

え…ぁ…

キィ

それはバランスボール…
ほら遊びたくて遊びたくて
仕方ないよね

しゃ…バ…ランス…ス
ボ…ル……
あそ…び…たい…です

滑らないように下の水着を脱ごうか
…はい…
ズルッ
そう…そこにまたがって…
そのまま腰を落とそうか
…んっ…
ピトッ

はっ！

え…？
何…痛っ…

わ…たし…え？
なん…で…？

おい○○君
大丈夫なのかね？

心配ありませんよ
社長

…え？

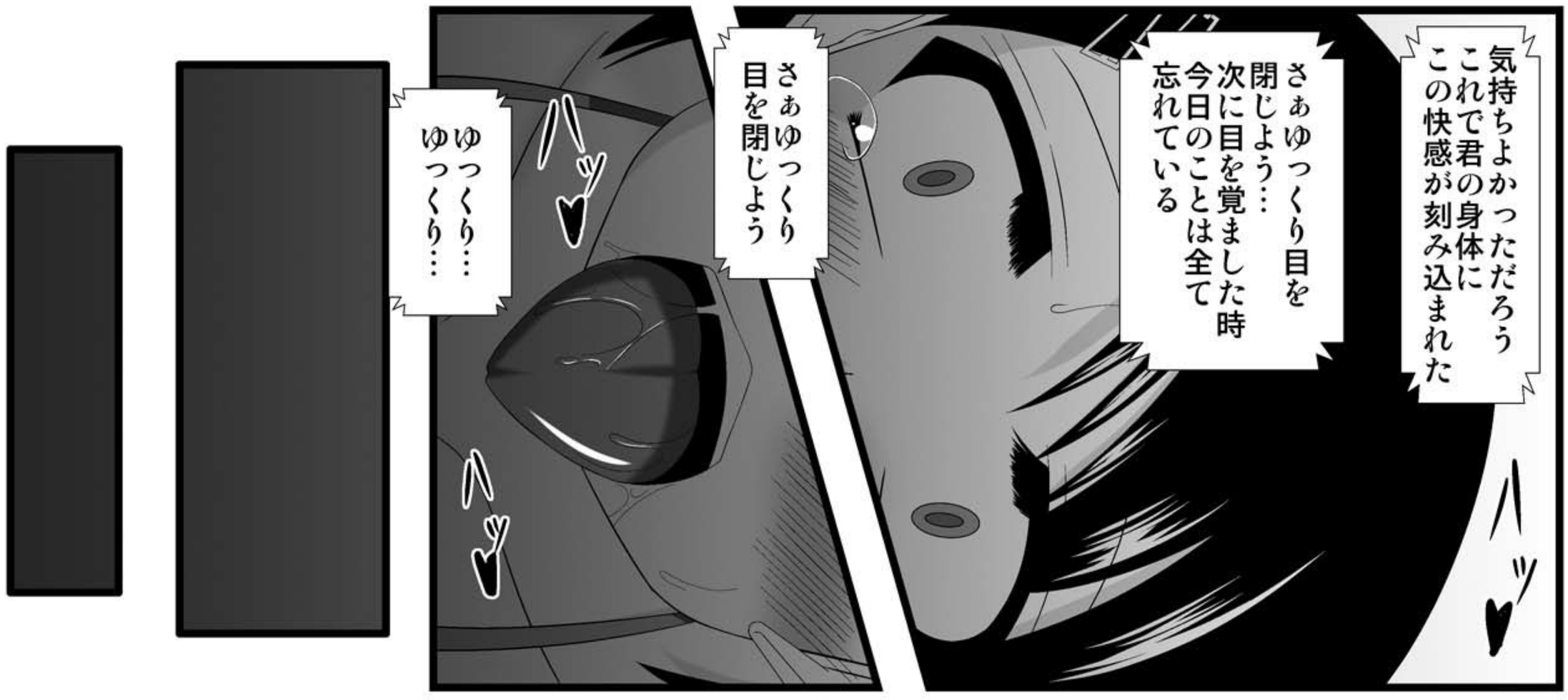
先ほど飲ませた
薬が効いてくる頃
ですから

気にせず
続けて下さい

え…な…んで？
こん…なの…
だ…め…なの…に

ハッ♥
ハッ♥
ハッ♥

ビクッ
ビクッ
あああああっ
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ



今日は毎週恒例の
握手会です

ファンの方と接せられる
機会なのでとても
大切なイベントです

プロデューサーさんの
イヤホン越しの声と
お薬のおかげで
恥ずかしがらずできてます♥

ファンの方のおち○ちんと
握手する普通の握手会ですが
来て下さる方は大人の方が
多いです♪

○○さんのおち○ちん
とても熱いです♥

大人の方のおち○ちんは
大きくて熱いので
大好きです♥

イくっ！

千枝ちゃん
イくよっ！

はい♥

あはっ♥
あつぅい♥

射精したね
じゃぁ次の人だよ

はい♥

手が精液で
ドロドロです♥

最初は苦くて
あまり好きじゃ
なかったけど

最近はなんだか
癖になってきてます♥

んっ♥

あ…あのっ！

ぼ…ぼぼ僕は
こっちとあああ
握手…したいな

いいですよ♥

ハァ

さぁどうぞ♥

ウァ

あはっ♥
喜んで貰えて
私も嬉しいです♥

あぁ…千枝ちゃんの
足と握手できて
ぼぼぼ…僕幸せだよ

……♥

ち…千枝ちゃんの足
気持ちよすぎて
ぼぼ僕…もう
でちゃいそうだよ

いっぱいいっぱい
射精(だ)してくださいね♥

あはっ♥
いっぱい射で精た♥

まだまだファンの方が沢山いるから

全身を使って握手しようか

さぁどんどん精液を射精(だ)してもらうんだ

んっ…♥

[redacted]

精液は君の事が好きな証ほらどんどん精液が欲しくて愛おしくなる

んっ♥

んんっ♥

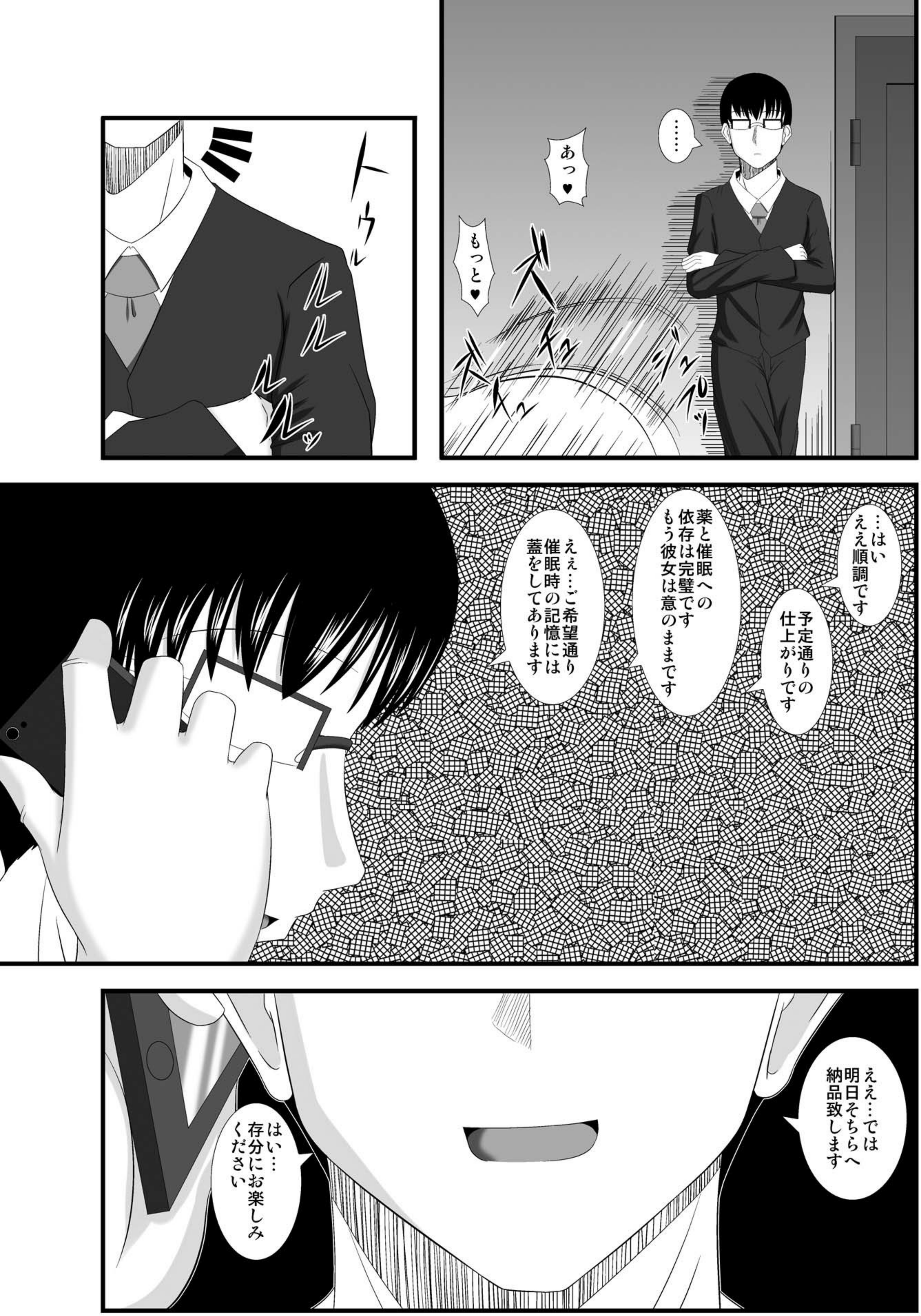
んっ♥
も…もう我慢できねぇ！
んっ♥
ち…千枝ちゃんにぶっかけていい？
お…俺も！
うん♥
皆さんの精液欲しいです♥
いっぱい私にかけて下さい♥

熱うい♥

あはぁ♥

えへへ♥
…幸せ♥

もっと…もっと
欲しいなぁ♥


……
あっ♥
もっと♥
ズチュ
ズチュ
ジュプッ
トゥル
ルルルルッ
…はい
ええ順調です
予定通りの
仕上がりです
薬と催眠への
依存は完璧です
もう彼女は意のままです
えぇ…ご希望通り
催眠時の記憶には
蓋をしてあります
ええ…では
明日そちらへ
納品致します
はい…
存分にお楽しみ
ください

——翌日

今日は営業の一環との事でホテルの一室に呼ばれました

…どうぞ

…失礼します

…誰だろう？
とても偉い人だとプロデューサーさんは言っていたけど…

君が千枝ちゃんだね？

…はい

カメラさんや他の人も誰もいないみたい

噂どおりの可愛い娘だね

さぁこっちへ来なさい

は…はい

今日は一体どんな仕事なんだろう

それじゃぁ早速…

……？

気持ちよくしてもらおうか

!?

ブルルン

え…？何？どういう…事？

プ…プロデューサー助…けて…たす…

!?

プロ…ぇ

無駄だったよ

だがこれを聞いて思い出すといい

ピッ

本当に記憶が封じられてるようだね

ビデオの映像と違って実に初々しい反応だ

な…なんでこの人がマイク…を？

この音…

キィィィ

!?

それに…この音…
さぁ服を脱いでこちらに来るんだ
この音を聞いてから身体がいう事を…効かない
い…やぁ…
パ
サッ
さぁ
う…うぅ…
嫌…舐め…たく…ない…
ドキ
ドキ
ドキ
いやぁ…
ク
プッ
!?
ドクン
ジュン♥

こんな…汚いのいや…なのに…
ピチャ
クチュ
なんか…
ずっと…舐めて…たぃ…
ジュプ
ジュプ
ジュプ
くくく…あんな嫌がってたくせに
咥えた途端惚けた顔になったな
ち…違う…もん…私…
おおおおおっ！そろそろ射精すぞ！
だ…だすってせい…えき!?
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
や…っ！早く！はなれ…なきゃ！おね…がい！身体…言う事…聞いっ…

いやあああああああっ！

んんんっ♥

吐き出さなきゃ
吐き出さなきゃ

精液…♥
おいひぃ♥

!?

何…言って…
わた…し…ちが…
もっほもっほ♥
ちょーらい♥

チュー♥

ではそろそろ

クリ

本番といこうか

きゃっ！

ヒクヒク

ヒクヒク

なんだしゃぶってただけでこんなにしているのか

いやぁ…見な…

たっぷり膣(なか)に射精(だ)してやるぞ

なか…やぁ…

ムード

膣出しは
やめてほしいか？

は…はい…

そうか…
では中か外か
君に選ばせて
あげよう

で…でも
マイクで…言われ
…たら…

あぁそうか

ではコレは外して
おいてあげよう

よ…よかった…

では最後に
一つ…

カチャ

君が望んで
膣に出されたら

君の身も心も
一生私のモノだ・

大丈夫…いくら
なんでも私から
望むわけがない
いらら

は…はい…

まぁこんなもの使わなくても

君自身から懇願するようになるさ

コト

すぐに…ね

スッ

ツ

えっ！な…何を！

コレかい？コレは君が今まで飲ませていた薬の原液だよ

勿論心を落ち着かせる薬なんかじゃないのは言うまでもないよね

そんなっ！いやっ！…いや！

ハキ

だめ…あたま…ぼー…っと…

ハッ

あ…ぁ…あぁ…あ…あ…

では…

ク

ん

ズル

ズル

ズル

ゴッ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
だ…め…わら…ひ
もう…こわ…れ…
ひゃ…

あひゃま…なか…
ぐひゃ…ぐひゃで
スーハー
スーハー
千枝ちゃんのパンスト
越しの足
汗ばんでとても
美味しいよ
きも…ひ
いぃ…こ…と
…ひ……か…
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
気持ちいいかい？
きも…ひ…いぃ
れ…す♥
もっと気持ちよく
なりたくないかい？
な…りた…い
……れ…す♥

膣出しすると
もっと気持ちよく
なれるぞ

な…か…？

膣出しされて
もっと気持ちよく
なりたくないか？

あ…れ…？
それ…だめ…
だった…き…が

れ…も…
なん…れ…
らっけ…？

ほーら
どうするんだい？

答えないと
抜いちゃうよ？

や…ぬいちゃ…

れも…きもひ…
よく…なりた…い

だったら…

どっちだい？

…わら…ひ…
も…う…

い…いいま…しゅっ！

…だ…さぃ…
何？
な…かに…く…ださい…
聞こえないなぁ もっとはっきりと
膣にいっぱいだひてください
ズチュ
ズチュ
パンッ
パンッ
ズチュ
ハッ
ハッ
ハッ
ビクッ
ビクッ
よくできました それじゃぁ お望みどおり…
ズチュ
ズチュ
ズチュ
膣なしだ
ドッ

あああああ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
これで君は一生私のモノだ
ハーッ♥
ハーッ♥
れろお
…はい♥

こんにちはー♪
赤城みりあでーす♪
確かあの子
千枝と同じ歳
だったっけ？
ピッ
今でもあんな風な
アイドルになりたいと
思ってるかい？
いえ♥
私…はご主人様のっ♥
アイドル…ですから♥
ふふふ…
可愛い奴だ
これからも
ずっと可愛がって
やろう
…はい♥
トクン
トクン

後書き

こんにちはor初めましてyashaです。
今回は久々にドMホイホイではない内容です。
なので描きたい事詰め込んだら思った以上に
ページ数が多くなってしまいました(´･ω･`)
本当は獣姦も描きたかったのは秘密☆
催眠とか薬漬けが結構好きなのでまたそのうち
描きたいなぁと思ったり思わなかったり…
受かったら冬もモバマスの予定です。
雪美とか麗奈で描きたいなぁとか思ってます。
ではまたノシ

yasha

奥付

発行 Endless Requiem
発行者 yasha
発行日 2012年08月12日
印刷所 ねこのしっぽ様

連絡先

http://www.pandora.nu/endlessrequiem/
yasha@pandora.nu

☆本書の内容の無断転載・コピー・ネット上へのアップロードを禁じます。

Endless Requiem

Presents

FOR ADULT ONLY